

## 盛岡市都市計画マスタープラン【地域別構想】の見直しの方向性に関する市民意見と市の考え方

### 1 意見募集の趣旨

盛岡市都市計画マスタープランは、平成 22（2010）年に第 1 回目の変更を行っていますが、この変更から 10 年以上が経過し、本市を取り巻く社会経済情勢が大きく変化していることから、本プランの【全体構想】の見直しを令和 3（2021）年 7 月に実施し、引き続き、全体構想の目標や方針を踏まえた【地域別構想】の見直しを進めています。

今回の【地域別構想】の見直しでは、各地域の最新データによる現状把握のほか、町内会・自治会等を対象とした書面によるヒアリングや、約 20 年後のまちづくりを担う世代である市内の市立中学校 2 学年の生徒を対象としたアンケート、市民を対象としたウェブアンケートを行い、各地域の見直しの方向性の概要を取りまとめ、スライド形式の動画を配信し、意見を募集しました。

### 2 意見募集期間

令和 4 年 3 月 30 日（水）から 4 月 15 日（金）まで

### 3 意見募集方法

盛岡市公式ホームページの応募フォーム

### 4 受付意見数

5 件（4 人）

### 5 反映区分

A：盛岡市都市計画マスタープラン【地域別構想】に盛り込む予定のもの

B：盛岡市都市計画マスタープラン【全体構想】に盛り込み済みのもの

C：他計画等に盛り込むことを検討するもの

D：その他、要望・感想等

6 意見の趣旨と市の考え方

No.	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
1 中心地域（40代）	<p>・中心地域の川沿いが災害に遭いやすいので、菜園側から下の橋を渡った先の南大通までの道路の全区間を二車線にし、盛岡駅～菜園～下の橋～明治橋をスムーズに通行できるようにしてほしい。現在は、下の橋を渡った直後に左折（迂回）しなければならない、災害があつて避難するとき車に集中すると渋滞する。二車線の道路にして利便性を良くし、人の通行が増えれば、店が増え、住む人も増えるのではないか。</p>	<p>下の橋から南大通までの道路は、都市計画道路 下ノ橋南大通線として都市計画決定しており、2車線の拡幅整備を計画しております。</p> <p>都市計画道路 下ノ橋南大通線の整備時期は、都市計画道路の整備目標を定めている「盛岡市都市計画道路整備プログラム」の見直しにおいて、今後、検討してまいります。</p>	C
2 みたけ・厨川地域（20代）	<p>・視覚障がい者であるが、公共交通機関や生活に必要な商業施設などが集まっており、とても住みやすい。雪が積もると外出が困難になるが、インターネットで買い物ができるようになったので、それほど困らずに過ごすことができている。とても住みやすい街だと感じている。</p>	<p>みたけ・厨川地域は、令和3年度に実施した町内会・自治会等ヒアリングにおいても、住みやすいまちになっているとの御意見をいただいております。</p> <p>今後も、住みやすいまちであると感じていただけるように、引き続き、『守ろう緑と景観、交流・協力・活用の輪でつくるまちづくり』を目標としたまちづくりを推進していく必要があるものと考えております。</p>	D

No.	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
3 (2と同一の方)	<p>・強い風が気になるので、木を植えるなど、何か対策ができたならもっといいと思っている。</p>	<p>強風対策は、自然現象でもあり、十分な対応が困難であります。御意見のとおり、木を植えることは、市街地の気温の上昇の緩和など、快適で質の高い環境づくりという点からも効果があるものと考えております。</p> <p>なお、緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な方針を定めている「第2次盛岡市緑の基本計画」においては、公園の緑や住宅地の生垣などの「まちの緑」について、計画的な保全や緑化活動の新たな担い手の育成などに取組みながら、持続可能な緑の環境を整えていくこととしております。</p>	D
4 上田地域(40代)	<p>・全体的に住みやすい地域と改めて認識した。文教地区、こがねパーク高松、一里塚まつりなど地域資源をうまく活用していきたい。</p>	<p>上田地域は、令和3年度に実施した町内会・自治会等ヒアリングにおいても、地域環境が良好であるとの御意見や、こがねパークたかまつの活用を期待したいとの御意見をいただいております。</p> <p>今後も、住みやすいまちであると感じていただけるように、引き続き、『歴史、緑、教育、人と街、みんなでつくろう住みよい上田』を目標としたまちづくりを推進していく必要があるものと考えております。</p>	D
5 中心地域(40代)	<p>・この計画は、県外資本の巨大ショッピングセンターやロードサイドの店を集積させている盛南地区及びリトル東京のような盛岡駅西側エリアを盛岡市の新たな「中心拠点」として機能分担という表現を使いつつ、既存の中心市街地から断続的に行われているリソース(資源)移行を更に進めようとしているように見える。</p> <p>・本来は、中心市街地</p>	<p>御意見のとおり、都市機能の拡散を防ぎ、都市をコンパクトにしていくことは、今後のまちづくりに必要なことと考えており、本市の都市計画の基本方針を定めた「盛岡市都市計画マスタープラン〔全体構想〕」においては、今後も進む人口減少を見据え、持続可能でコンパクトな都市構造の形成を目指すこととしております。</p> <p>また、「盛岡市都市計画マスタープラン」に即して、「盛岡市立地適正化計画」を策定し、コンパクトな市街地の形成に、公共交通のネットワークの要素を加えた「コンパクト・プラス・ネットワーク」によるまちづくりを進めております。</p>	B

No.	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
	<p>の老朽化が進んでいるのであれば、現地での建替えや集中した再投資を行う事で都市のスプロールを避けつつ、中心市街地を再構成する必要があるのではないか。</p> <p>・人口減少が進んでいく昨今、インフラ維持を考えれば都市をシュリンク（縮小）させ、コンパクトにしていくことが財政面からも必須である。駅西地区はともかく、これ以上、盛南地区へのスプロール、過剰投資はやめるべきで、機能移転なども既存で動いてしまった都市機能は致し方ないとしても、これ以上、拡散させないように、現在の場所での建替えに計画変更すべきである。</p> <p>・そもそもコンパクトの定義をしっかり定めるべきである。盛岡市の中心である盛岡城跡公園から徒歩15分圏内程度を中心として、都市機能、人口、商業を集積させて、盛岡の行政、財政リソースの分散を引き起こしている人口増加を前提とした頃の盛南開発・副都心的な発想は今すぐ改めるべきである。</p> <p>・徒歩15分圏に諸々の都市機能を集めること</p>	<p>立地適正化計画は、市街化区域の中に、人口密度の維持を図る「居住誘導区域」と、都市機能の維持・誘導を図る「都市機能誘導区域」を定め、必要な施策を講じることによって、市街地の拡散や低密度化を防ぎ、一定の人口密度に支えられてきた医療・福祉・商業などの生活サービスの維持や地域の活力の維持を図るものであり、本市では、「都市機能誘導区域」として、中心拠点を「中心市街地」、「盛南」の2箇所、地域拠点を「松園」、「青山」、「見前・永井」、「渋民」の4箇所、設定しております。</p> <p>「中心市街地」においては、この計画の誘導施策としても位置付けている「盛岡バスセンター整備事業」や「中ノ橋通一丁目地区第一種市街地再開発事業」などの実施のほか、本市及び本県の社会経済活動の中核を担う「内丸地区」の「再整備」に係る検討を進めるなど、都市機能の維持・更新に取り組んでおります</p> <p>なお、「盛南」については、病院や規模の大きな商業施設などの都市機能が集積して一体的な拠点が形成されており、本市の中心拠点の一つを担う重要な地域となっていることから、「中心市街地」とともに、都市機能の維持・集積を図る区域として位置付けておりますので、御理解をいただきたいと思います。</p>	

No.	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映 区分
	<p>は、ポートランド、メルボルン、パリなど世界各地の魅力的な主要都市で既に取り組みを始めているテーマである。現在の中心地から徒歩で移動すれば、駅西口くらいがせいぜいで、盛南地区などとても徒歩では移動できないので、本点について、計画を見直してほしい。</p>		